

第5学年 道徳学習指導案

1 総合単元名 自然のめぐみ

2 総合単元設定の理由

(1) 総合単元について

地球は、とても美しい星である。海、山、川、大地、空気、・・・すばらしい自然の中で、たくさんの生命がはぐくまれてきた。わたしたち人類も、自然の恩恵を受けて生かされている。そして、いろいろな場面で自然の美しさや神秘さに感動したり、自然の恐ろしさを感じたりして、その偉大さを知るのである。しかし、現代社会においては、物質的な豊かさや便利な生活と引きかえに、自然の豊かさを失い、深刻な環境破壊が世界的な問題となっている。わたしたちは、自分では気付かぬうちに、自然破壊の加害者になっている。5学年の教育課程には、動植物の生命のつながりについての学習や、さまざまな公害問題についての学習など、自然や環境について考える内容が多く見られる。よって、生命尊重や自然愛といった道徳的価値を高めることは、意義深いことである。

本学年の子どもたちは、自然が大好きである。メダカ、カメなどの小動物の飼育を通して、生命の神秘に触れるとともに、成長する姿に喜びを感じることができた。また、総合的な学習の時間には、省エネ・省資源をめざした「リサイクル大作戦」を実践し、2学期は、地域の川について調べ、身近な環境問題へ関心をもって取り組んでいる。子どもたちは、意欲的に活動し、自分たちの取り組みが、地球のためになっているのだという自覚が高まっている。しかし、日常の自分たちの行動が、環境破壊につながることに對しての認識はほとんどない。

保護者への意識調査を見てみても、「わが子に身に付けてほしい道徳の内容項目」として、「生命尊重」を挙げている割合は50%と高いが、「自然愛」の項目は、10%と低くなっている。また、「社会奉仕」の項目も10%と低い。つまり、生命の大切さは大いに感じてほしいけれども、生命をはぐくむ地球や自然環境を大切にしてほしいとか、ボランティア活動に積極的に取り組んでほしいという願いをもつ保護者は限られている。

地球の危機が現実となっている今、自然と人間が共生する方策を早急にとらなければ、わが身も危うい。わたしたちの命をはぐくんでくれている自然への感謝の気持ちを持ち、自然を愛する気持ちを高め、自然環境を守ろうとする実践力を身に付けさせたいと考えて本総合単元を設定した。自然保護を行うには、「考え方は地球規模で、行動は身近なところから」という考え方が大切だと言われている。地球の一員としての自覚と責任感をもって、主体的に自然保護に取り組んでいこうという態度が養われ、家庭・地域へと広がっていくことを期待している。

(2) 単元構成について

5学年の重点目標は、「公徳心を持ち、公正・公平な心で正義の実現に努める」「自然の偉大さや生命の尊厳を理解し、人間の力を超えたものへの畏敬の念をもつ」ということである。その目標を達成するために、以下のように、学期ごとの総合単元を設定した。

1学期は、「支え合って生きる」という総合単元で、社会集団の一員としての自覚を促し、協力しながら責任を果たすという態度を身に付けてきた。2学期は、所属集団を地球にまで広げ、「自然のめぐみ」という総合単元を設定し、主体的に自然保護に取り組む態度を養うことをめざしている。さらに、3学期には、自分も含め、支え合って生活している一人一人の命の尊さや、生き様を見つめ直し、自他の生命を尊重しながら、互いを大切にして生きていこうとする態度を身に付けさせたいと考えて、総合単元「命あふれる」を設定している。

本総合単元「自然のめぐみ」では、教科学習、総合的な学習の時間、さまざまな体験活動と関連づけて、環境問題に主体的に取り組んでいきたいと考えている。自分たちにできることは小さいが、その小さな行動が、豊かな自然を取りもどし、地球を救うことになるのだということを理解させたい。自分を愛するように地球を愛し、自分に何ができるのかということを考えて行動できる力を身に付けさせたい。

3 総合単元の目標

自然の偉大さを理解して自然環境を守ることの大切さに気付くとともに、そのために自分は何ができるかを考えさせ、積極的に環境保全に努めていこうとする態度を養う。

4 学習計画



子どもの意識・実践の様子・評価

—— 道徳の時間

~~~~~ 心のノート

—— 教科等

..... 常時

—— 体験活動

○めあて ●評価

|                        | 子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 学校・家庭・地域で生かす                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I<br>気<br>付<br>く       | <p>心のノート（朝の活動） 10月26日<br/>「生命を愛おしむ」 p.56~59</p> <p>○地球の一員であることに気づく。<br/>・地球には、たくさんの生命がはぐくまれている。<br/>・地球は、長い年月をかけて生命を、自然をつくってきたんだなあ。<br/>・わたしたちは、この地球の自然のめぐみをもって生きている。<br/>・わたしたちも、自然の一員なんだ。<br/>・自然を大切にしていかなないと、わたしたち人間も死んでしまうことになる。<br/>・わたしたちの地球を守っていこう。<br/>●地球を大切にしていこうという気持ちもてたか。</p> | <p>「発信しよう！エコタウン&amp;リバータウン北島町へ」（総合的な学習） 10月3日～</p> <p>○ふるさと北島町をよりよい町にしていけることができる。<br/>・1学期から、いろいろなリサイクル活動やエコ活動をしてきた。<br/>・2学期も、がんばっていこう。<br/>・北島町が、美しい町、環境を大切にす町になるために、できることはないかな。<br/>●北島町の自然に関心を持ち、よりよい町にしていこうとする意欲をもてたか。</p> |
|                        | <p>資料名「地球を思う」（道徳） 10月28日・26日</p> <p>○地球の苦しみについて考えることができる。<br/>・地球は、46億才なんだ。すごい。<br/>・今は、温暖化や公害などで苦しんでいるんだ。<br/>・人間が楽しいことばかりを考えて、地球の気持ちに目向けられていなかった。<br/>・人間が便利なことは、地球のためには悪いことがあると分かった。<br/>・ぼくたちが力を合わせて地球を助けよう。<br/>●地球の苦しみを実感して、自分たちができることを考えようという意欲もてたか。</p>                            | <p>「工業の発達とわたしたちの暮らし」（社会）</p> <p>○さまざまな工業製品が、暮らしを支えていることを理解できる。<br/>●安全や環境に配慮した製品の開発をとらえることができたか。<br/>●工業で働く人々の工夫や努力を理解できたか。</p>                                                                                                 |
|                        | <p>資料名「ケヤキの木の下で」（道徳） 11月4日・2日</p> <p>○人間のやさしい心や美しい行為に気づき、素直に感動する心を育てる。<br/>・ケヤキの木よ、長い間ありがとう。<br/>・思い出のケヤキの木をなくしたくない。<br/>・おばあさんは、ケヤキの木が、多くの人にかわいがってもらえることを祈っている。<br/>・ボランティア活動で、人のために尽くす行動を見て、感動した。<br/>●美しい心や行動に気づき、畏敬の気持ちをもつ心のすばらしさを理解できたか。</p>                                          | <p>「親子ふれあい遠足」（行事） 10月23日</p> <p>○家の人といっしょに歩いて、自然とふれあうことができる。<br/>・きれいな花がさいているなあ。<br/>・大きな木があるよ。<br/>・ごみが落ちている。<br/>・自然を大切にしよう。<br/>●地域の自然に目を向けることができたか。<br/>●自然は美しいと感じられたか。</p>                                                 |
|                        | <p>心のノート（帰りの活動） 11月4日<br/>「大いなるものの息づかいをきこう」 p.66~69</p> <p>○人間の力を超えたものがあることに気づく。<br/>・宇宙や自然は、すごい。神秘的だ。<br/>・人間なんて、ちっぽけなもののように感じる。<br/>・人間の心や行動も、すばらしいのだ。<br/>●「すごいなあ。」と感動する心のすばらしさを感じ取ることができたか。</p>                                                                                        | <p>「流れる水のはたらき」（理科）</p> <p>○川の様子を調べ、流れる水のはたらきを知る。<br/>・川の上流と下流では違うんだな。<br/>・水には、いろいろなはたらきがあるんだな。<br/>・川はきれいだけど、災害を起こすこともあるんだ。<br/>●水のはたらきについて、関心を持ち、理解できたか。</p>                                                                  |
| II<br>見<br>つ<br>め<br>る | <p>資料名「来たときよりも美しく」（道徳） 11月11日・9日</p> <p>○自然の偉大さを理解し、自然環境を大切にしようとする心情をもつことができる。<br/>・毎日、山をパトロールした石川さんはえらい。<br/>・石川さんは、本当に自然を愛する人になってもらいたいのだな。</p>                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                 |

- ・「自然はみんなのものだ。」という願いが、この標語にはこめられている。
- ・人間だけでなく、他の生き物のためにも自然を守らなくてはならない。
- ・自然を汚さないようにしていこう。
- 標語にこめられた自然保護への願いを理解して、自分ができることを話し合えたか。

資料名「空きかん拾い」(道徳)

11月18日(1組本時)・16日

- 自分の役割を自覚して、主体的に責任を果たそうとすることができる。
- ・あき子さんにとって、ピアノレッスンを選んだのも無理はない。
- ・9時半までは、きちんと空きかん拾いをして、せいっぱいの責任を果たしている。
- ・あきさんはリーダーなんだから、子ども会の空きかん拾いを優先しなければいけない。
- ・一平君は、大変だっただろう。
- ・あきさんも本当の責任の意味が分かったはずだ。
- 自分の考えをもち、主張できたか。
- 責任を果たすことの真の意味を考えられたか。

心のノート(学活)

11月22日

「社会の役に立とうとする心」

p 84~87

- 社会のために自分ができることを考える。
- ・ぼくたちのしてきたリサイクル活動も、みんなの役に立っているとうれしいな。
- ・ボランティアは、自分の成長にもつながることだ。
- ・これからできることは、どんなことだろう。
- 社会に役立つことを通して、自分も成長できることを理解できたか。

資料名「リバータウン」(道徳)

11月29日・18日(2組本時)

- 何気ない行動が自然環境を壊していることに気づき、自然環境を守るために、自ら進んで働きかけたいとすることができる。
- ・お父さんは、さくら川で泳いだことがあるんだな。
- ・おじいさんは、川が汚れたのは自分の責任だと感じているんだ。
- ・自分の何気ない行動が、川を汚していたんだ。
- ・自然は、壊れやすいものだから、自分たちが守らないといけない。
- 環境保全への思いを高めることができたか。

心のノート(総合的な学習の時間)

11月30日

「美しい自然 ずっとこのままで」

p 60~61

- 美しい自然を守るために、自分たちに何ができるか考えることができる。
- ・自然は美しいが、こわれやすい。
- ・こわれてしまうと、なかなか元にもどせない。
- ・自然にやさしい人間になりたい。
- ・自分には、どんなことができるだろうか。
- 自然を愛する気持ちをもち、自分たちにできることをやろうとする態度を養うことができたか。

「エコ・リサイクル大作戦」

- 地球のために、エコ活動やリサイクル活動をがんばる。
- ・自分の役割をきちんと果たしてみんなに迷惑をかけないようにしよう。
- ・節水、節電も、自分で進んでやっぺいこう。
- ・協力してこれからも続けるぞ。
- 自分の役割に責任をもち、自主的に活動に取り組んでいるか。

「北島町の川について調べよう」

(総合的な学習)

10月

- 北島町の川は、どんな様子か調べる。
- ・川の汚れを調べよう。
- ・どんな生き物がいるのかな。
- ・なぜ汚れたのかな。
- ・いつから汚れたのかな。
- ・よく知っている人に聞こう。
- 北島町の川について意欲的に調べることができたか。

水質検査をしよう

ゲストティーチャーを招いて、話を聞こう。

「目的に応じた伝え方を考えよう」

(国語)

11月~12月

- 調べたことや考えたことを工夫して、発信する。
- ・ニュースにしたい話題を選ぼう。
- ・学校の仲間や地域の人にわかりやすく伝えよう。
- 自分の考えを適切に伝えることができたか。

(1) 主 題 名 自分の役割

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 4-(1) | 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 |
|-------|----------------------------------------|

人間は、集団や社会で様々な役割を受け持ちながら他者と関わり、そのことを通して社会的に成長し、豊かな生活を実現している。しかし、受け持った仕事や役割を果たさなければ、集団生活は成立しないし、他人にも迷惑をかけてしまい、最後には孤立した存在となってしまふ。

私たちは、集団や社会の中で、自分がおかれている立場や役割を自覚して、主体的に集団や社会に関わっていかなければならない。そのためには、互いの支え合いによって社会生活が成立しているという認識に立ち、自分の役割が社会生活を支えているという自覚をもち、協力を惜しまない積極的な態度が望まれる。このような中でこそ、集団の中の個人も尊重され、自分が所属している集団への所属意識も高まるのである。

高学年という時期は、学校や社会において、集団の中に参加する機会も多くなり、おのずと役割やそれにとまなう責任をもつようになる。また、集団への所属意識も高まり、集団の中における自分の役割を意識できるようになる。従って、集団の中での自己の役割と責任を主体的な自覚にまで高め、積極的に責任を果たそうとする態度を養うことが必要になる。

〈子どもの実態〉

2学期も後半になり、当番・係活動などで自分の役割を自覚し、みんなで楽しく活動したり、委員会活動でも積極的に活動したりする児童が増えてきた。しかし、中には、これらの活動に消極的で、周囲からの指示があってから活動する児童や、そうじ分担など、集団で役割を受けもっていれば他人任せにして、主体的に役割に関わろうとしない児童もいる。また、「他の用事があったから。」「○○さんもしていないから。」など、自己都合を優先したり、他人に責任を転嫁したりして、自分の無責任な行為を肯定している児童もいる。これは、自分に与えられた役割が、所属する集団を維持、向上させていくために大切であるということや、責任を果たさなければ人に多大な迷惑をかけるという認識が欠けているためである。

そこで、こうした子どもたちに対して、周囲の人たちがそれぞれ自分の役割を果たしてくれているから、自分も集団の中で生活できているということに気付かせ、集団生活を支えていくために、自分も役割を果たさなければならないという考え方をもちたい。そして、役割を果たすことの充実感や協力することのすばらしさにも気付かせる中で、積極的に集団生活にかかわり、協力していこうとする態度を養いたい。

〈資料について〉 空きかん拾い (教師自作)

班のリーダーとなったあき子は、子ども会の空きかん拾いに参加するか、ピアノのレッスンに行くかで心が揺れる。リーダーとしての責任を感じつつも、入賞するめったにないチャンスだけにあき子が迷うのも十分共感できる。それ故にあき子がピアノレッスンを選択した行為は、多くの児童から弁護される場所である。さらには、あき子が時間前から、ぎりぎりまで空きかん拾いをして、少しでも責任を果たそうとした思いは、弁護する大きな理由となるであろう。しかし、一平がJ2の試合を見たいという思いをがまんし、あき子を責めることなく一人で班長としての責任を果たしたその強い責任感からすれば、あき子のピアノレッスンを選択した心には、班長としての責任への自覚が欠けていたと言わざるを得ない。

ピアノのレッスンを選択したあき子の行為を、児童の道徳的な価値判断をもとに話し合わせ、批判・弁護に分かれた児童の主張を練り高め合うことで、ねらいとする価値に迫ることができる。そして、「ごめんね。」と、一平に対し自分のとった行為を悔いるあき子にも責任に対する本当の自覚が生まれていることを共感的にとらえさせたい。

(3) ねらい

自分の責任を果たさなければ、まわりに迷惑をかけることに気付かせ、自分の役割を自覚して、主体的に責任を果たそうとする態度を養う。

(4) 展開

□指導上の留意点 ●評価 ( )評価方法

| 学習活動                                                                                                                                                             | 主な発問と予想される子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 指導上の留意点と評価                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 自分の役割に対する考えを思い出す。                                                                                                                                              | <p>○ 皆さんは、学級の仕事や委員会などでいろいろな役割をもっていますね。みなさんはどんなことを思いながら仕事をしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面倒くさいな。</li> <li>・みんなのためにがんばろう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>□責任を果たしている場面の写真を提示し、自分の活動を振り返りやすくさせる。</p>                                                                                                                     |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| 2 資料「空きかん拾い」のあらすじを確認し、感想を話し合う。                                                                                                                                   | <p>○ あき子がピアノのレッスンを選んだことについてどんな感想をもちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空きかん拾いに参加しないといけな。</li> <li>・コンクールが近いのだから仕方ない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>□問題意識を共通化させるため、あき子のピアノレッスンを選択した行為に感想を絞るようにする。</p>                                                                                                             |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| <p>あき子が、ピアノのレッスンに行ったことに問題はないのだろうか。</p>                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクールに入賞のチャンス</li> <li>・ピアノの先生からの誘い</li> </ul>                                                                           | <p>○ ピアノのコンクールに入賞のチャンスで、わざわざピアノの先生が誘ってくれたことから考えるとどうでしょう。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>〈弁護〉<br/>【かまわない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくの先生の誘いは断れない。</li> <li>・入賞のチャンスはめったにあるものでないから。</li> <li>・お母さんもピアノのレッスンに行くように勧めている。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>〈批判〉<br/>【いけない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノは自分だけのこと。別の時間にすべき。</li> <li>・空きかん拾いのリーダーだから断るべき。</li> <li>・自分の考えで行動しないといけない。</li> </ul> </td> </tr> </table> | <p>〈弁護〉<br/>【かまわない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくの先生の誘いは断れない。</li> <li>・入賞のチャンスはめったにあるものでないから。</li> <li>・お母さんもピアノのレッスンに行くように勧めている。</li> </ul> | <p>〈批判〉<br/>【いけない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノは自分だけのこと。別の時間にすべき。</li> <li>・空きかん拾いのリーダーだから断るべき。</li> <li>・自分の考えで行動しないといけない。</li> </ul> | <p>□スイッチカードで、最初の自分の感じ方・考え方を明確にさせる。</p> <p>□自己の価値観をもとに発言できるよう、状況を補足する。</p> <p>□あき子のやむをえない状況を確認しておく。</p> <p>●友達の記事を読み、自分の考えと比較しながら意見を言えたか。(発言)</p> |
| <p>〈弁護〉<br/>【かまわない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくの先生の誘いは断れない。</li> <li>・入賞のチャンスはめったにあるものでないから。</li> <li>・お母さんもピアノのレッスンに行くように勧めている。</li> </ul> | <p>〈批判〉<br/>【いけない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノは自分だけのこと。別の時間にすべき。</li> <li>・空きかん拾いのリーダーだから断るべき。</li> <li>・自分の考えで行動しないといけない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間前から9時半まで空きかんを拾っていた</li> </ul>                                                                                          | <p>○ あき子も8時半から9時半まで空きかん拾いしたことから考えるとどうでしょう。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間まではあき子も働いたから、責任を果たしている。</li> <li>・できる限りのことをやっけて責任を果たそうとしている。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あき子の責任は、缶を拾うだけではない。</li> <li>・あき子が責任を果たさなかったから、一平は、ものすごく苦勞をしている。</li> </ul> </td> </tr> </table>                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間まではあき子も働いたから、責任を果たしている。</li> <li>・できる限りのことをやっけて責任を果たそうとしている。</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あき子の責任は、缶を拾うだけではない。</li> <li>・あき子が責任を果たさなかったから、一平は、ものすごく苦勞をしている。</li> </ul>                                       | <p>□自分の責任感に対する自覚のなさから、一平に迷惑をかけ、一平が自分の分まで苦勞して責任を果たした姿からあき子への批判の立場を決定づける。</p> <p>□下学年の小さい子に対する責任や地域をきれいにする責任まで自覚した一平の責任感に気付けるようにする。</p>            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間まではあき子も働いたから、責任を果たしている。</li> <li>・できる限りのことをやっけて責任を果たそうとしている。</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あき子の責任は、缶を拾うだけではない。</li> <li>・あき子が責任を果たさなかったから、一平は、ものすごく苦勞をしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・用事があったのに責任を果たした一平の姿</li> </ul>                                                                                           | <p>○ 一平はどう考えたからJ2の試合を見るのをがまんしたのですか。そのことからすると、あき子は責任を果たしたといえるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用事があったのは一平もあき子も同じだった。そう考えると、あき子も自分の都合を優先させるべきでなかった。</li> <li>・一平のおかげで、地域をきれいにする責任が果たせた。自分の都合は後回しにしても地域のために働くべきだった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>●自分の都合よりも集団の中で、自分の役割を自覚し、責任を果たすことが、大切であることが理解できたか。(カード)</p>                                                                                                   |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に戻った一平に謝ったあき子</li> </ul>                                                                                               | <p>○ あき子は何に気づいたから一平にあやまったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がかかって自分の責任を果たした一平はすばらしい。その間にピアノを弾いてケーキを食べたのでは、一平に申し訳がない。</li> <li>・自分の都合ばかり考えて、いろんなことに対する責任が果たせていなかった自分に気が付いた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| 3 自分たちの生活について振り返り、責任について深く考える。                                                                                                                                   | <p>○ 自分に任された仕事の意味を考えて、責任が果たせたことはありませんか。また、責任が果たせなかったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の仕事で、班の子がいなくて大変だったけど、やらなければと思い最後までやった。</li> <li>・友だちに遊びを誘われたので、廃品回収に参加しなかった。責任感が足りなかった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>□今までの生活を振り返りやすくするために、道徳ノートを活用させる。</p> <p>□学習したことから日常生活を振り返り、気付いたことやわかったことを発言できるように配慮する。</p>                                                                   |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |
| 4 本時のまとめをする。                                                                                                                                                     | <p>○ 葛藤しながらも役割を自覚して責任を果たしている児童の作文を聞く。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>●実践への意欲付けができたか。(カード)</p>                                                                                                                                      |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                  |



(1) 主題名 美しいふるさと

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 3-(1) | 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。 |
|-------|-----------------------|

人間も、自然の一員であり、自然と共に生きている存在である。自然が破壊されていくなかでは、人間も生きていくことはできない。それだけに、自然を愛し、自然に感謝し、自然環境を守ろうとする心を培わなければならない。自然の美しさや雄大さには、だれもが感動する。しかし、自然破壊が進み、今、環境問題は、世界中の人々の重要な課題となっている。

未来を生きる子どもたちにとって、環境問題は、今以上に切実な問題となろう。身近な自然にも目を向けて積極的に愛護しようとする姿勢をもたなければ、自然を守ることはできない。偉大な力をもつものである反面、人間の心しだいで弱くてもろいものになることを理解させ、自然保護、環境保全の主体者として行動できる心育を育てることが必要である。

〈子どもの実態〉

子どもたちは自然とかかわることが大好きである。家庭でも学校でも、動植物を育てかわいがっている。また、野外での活動を好み、自然のなかで遊んだり観察したり、生き生きと活動している姿をよく見かける。また、地域にある公園の清掃や空き缶集めなどのボランティア活動にも積極的に取り組み、環境を守ろう、資源を大切にしようという意識が高まっているのを感じる。教科学習や総合的な学習の時間においても、環境問題について考え、環境を守っていく必要性を理解することができている。しかし、自分の日常の何気ない行動が、自然破壊につながることに気付いていない。環境を破壊しているのは、工場で働く人々や車を運転する人々、平気でゴミをポイ捨てする人などと思っている。つまり、自分もまた環境を破壊する一人であるという認識がないのである。

そこで、一人一人が自分の生活を見つめ直し、人任せ、机上の自然保護ではなく、自分にできることから進んで取り組もうとする実践への意欲を高めたい。

〈資料について〉 リバータウン（教師自作）

学級の子どもたちは、環境問題に取り組む雄一郎やそこに描かれた町の設定を、まさに自分たちの姿を映し出すものとして受け取るにちがいない。そして、「だれが捨てたんな。」という雄一郎のゴミを捨てる人への憤りに共感を覚えるはずである。さらには、おばあちゃんの家近くを流れるきれいなことで有名な川さえも、いつかは人間によって汚されてしまうことに腹立たしさを覚える雄一郎は、まさに自分たちと同じであるとの思いをもつであろう。「川を汚すのは自分以外の人たちである」という考え方は、学級の多くの子どもたちの価値観でもある。

しかし、ゴミ拾いをするおじいさんとの出会いは、雄一郎の考えを大きく変える。雄一郎の「川を汚すのは自分以外の人」とする考え方に対し、おじいさんは「自分が川を汚したんだ」と考える。ゴミ拾いは、川を汚していることへの罪滅ぼしだという。このおじいさんの思いを追求することで、本時のねらいである「自分もどこかで自然を破壊するようなことをしているかもしれない」という思いに至らせることができるのである。雄一郎の、流れる墨に何かを思い、土の上に流しにいった行為は、日常の自分の行為の中に自然を汚している姿を発見し、自然保護へと歩み出した力強い姿がうかがえる。雄一郎の感じ方・考え方の変容を共感的にとらえさせることにより、子どもたちも雄一郎とともに、自然や環境を大切にしようとする思いへと高めていきたい。

(3) ねらい

自分たちの何気ない行動が自然環境を壊していることに気付かせ、自然環境を守るために自ら進んで働きかけていこうとする意欲を高める。

| 学 習 活 動                                                                                                 | 主な発問と予想される子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 指導上の留意点と評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 北島町の川や親水公園での自分たちの体験について発表し合う。                                                                         | ○ ここで、どんなことをしましたか。<br>・ゆとり公園で、駅伝大会があった。<br>・三ツ合公園である、ひょうたん祭りに行った。<br>・魚を釣ったことがある。<br>・友達とサイクリングに行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | □身近な川や親水公園の写真を提示し、自分たちの体験を想起させる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2 資料「リバータウン」のあらすじを確認し、話し合う。<br><br>・おばあちゃんの家に行ったとき<br><br>・おじいさんの思いを聞いたとき<br><br>・墨でよごれた水を手洗い場に流さなかったとき | ○ みんなとさくら川をそうじしている雄一郎は、ごみを見てどんな気持ちになっているのでしょうか。<br>・ごみが捨てられているのは、悲しい。<br>・どうして川を汚すんだ。腹立つなあ。<br>・みんなにも川を大事にしてほしい。<br><br>○ おばあちゃんの家の近くの川もいつかは泳げなくなると聞いて、どんな気持ちになったでしょう。<br>・ごみを捨てる人にもっと腹が立ってきた。<br>・もう許せないと思った。<br>・はやくみんなに川の大切さを知らせなくてはと思った。<br><br>○ 雄一郎は、おじいさんの考えを聞いて、どんなことを考えたのでしょうか。<br>・なぜ、おじいさんは自分が川を汚したと思っているのだろう。<br>・おじいさんは、川を汚したのは自分だと思って罪ほろぼしをしているのか。<br>・人間には便利なものも、自然にとっては悪いものがある。<br>・川を元どおりにしたい。<br>・おじいさんだけが川を汚したのではないのに。ほくだって……。<br><br>○ 雄一郎は、どんな思いから、墨で真っ黒になった水を手洗い場に流すのをやめたのでしょうか。<br>・この汚れた水が、川に流れていくんだ。<br>・自分たちが川を汚していたんだ。<br>・小さなことだけど、みんなが気をつければ、川はきれいになる。<br>・川は、町の人みんなの役に立っている。この町の大切な自然だから守っていこう。 | □自分たちの体験から、雄一郎の気持ちに共感できるようにする。<br><br>□川を汚す人たちへの怒りに共感させ、川を美しくしようとする気持ちが高まっていることに気付かせる。<br>□有名な清流の写真を提示して具体的に比較できるようにする。<br><br>□「罪ほろぼし」という言葉に着眼させ、おじいさんの深い思いに気付くことができるようにする。<br><br>□おじいさんの言動から、自分も川を汚している一人だったことに気付いた雄一郎の心情を理解させる。<br><br>□自分たちの学習と重ね合わせ、主体的に環境問題に取り組もうとしている雄一郎の姿に共感させ、意識を高めさせる。<br>●「自分も川を汚していた」と反省して、行動に移そうとする雄一郎の思いをとらえられたか。(ノート・発言) |
| 3 自分たちの生活について振り返り、環境保全について深く考える。                                                                        | ○ みなさんは、自然環境について、どのように考えていましたか。また、雄一郎のように、自然を大切にしていこうとしたことはありませんか。<br>・お菓子の袋をゴミ捨てしてしまいました。<br>・私も雄一郎と同じで、川を汚す一人なんだ。<br>・ちょっとぐらい……という気持ちがあつて、牛乳を手洗い場に捨ててしまった。<br>・米のとぎ汁は花にやって、肥料として使う。<br>・洗剤は水を汚してしまうので、使いすぎないようにしている。<br>・EM活性液を使って掃除をした。環境にやさしいと教えてもらったから。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | □今までの生活を振り返りやすくするために、道徳ノートを活用させる。<br>□行為だけでなく、雄一郎のどの気持ちや考えと同じだったのかを言えるように配慮する。<br>●学習したことや日常生活を振り返り、気付いたことや自分にできることを発表できたか。(発言)                                                                                                                                                                                                                          |
| 4 本時のまとめをする。                                                                                            | ○ 地域の方のお話を聞きましょう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | □美しいふるさとを守ろうとする意欲を高めさせる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



